

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 設定日 | 2015年2月4日 |
| 信託期間 | 2015年2月4日～2020年1月6日（約5年） |
| 運用方針 | 主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「高金利通貨戦略」と「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインとオプションプレミアム確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 |
| 主要運用対象 | 米国株アルファ・カルテット（毎月分配型） ・US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A 受益証券を主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A ・米国の株式を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、為替取引、株価指数オプション取引ならびに通貨オプション取引を活用します。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | ・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| 分配方針 | 毎月4日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 * 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。 |

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

運用報告書（全体版）

第9作成期
決算日

| | |
|------|-----------|
| 第48期 | 2019年2月4日 |
| 第49期 | 2019年3月4日 |
| 第50期 | 2019年4月4日 |
| 第51期 | 2019年5月7日 |
| 第52期 | 2019年6月4日 |
| 第53期 | 2019年7月4日 |

米国株アルファ・カルテット （毎月分配型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第9作成期（第48期～第53期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

最近30期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | | 公 社 債 組入比率 | 投 資 信 託 証 券 組 入 比 率 | 純 資 産 総 額 |
|-------------------|---------|------------|--------------|---------------|------------------------|--------------|
| | (分配落) | 税 込 分配金 | 期 中 騰 落 率 | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 第24期 (2017年2月6日) | 6,779 | 100 | 1.4 | 0.0 | 97.1 | 3,171 |
| 第25期 (2017年3月6日) | 6,973 | 100 | 4.3 | 0.0 | 96.6 | 3,261 |
| 第26期 (2017年4月4日) | 6,698 | 100 | △ 2.5 | 0.0 | 96.4 | 3,079 |
| 第27期 (2017年5月8日) | 6,707 | 100 | 1.6 | 0.0 | 97.2 | 3,042 |
| 第28期 (2017年6月5日) | 6,390 | 100 | △ 3.2 | 0.0 | 97.3 | 3,041 |
| 第29期 (2017年7月4日) | 6,408 | 100 | 1.8 | 0.0 | 96.7 | 2,857 |
| 第30期 (2017年8月4日) | 6,479 | 100 | 2.7 | 0.0 | 97.0 | 2,791 |
| 第31期 (2017年9月4日) | 6,398 | 100 | 0.3 | 0.0 | 97.0 | 2,750 |
| 第32期 (2017年10月4日) | 6,678 | 100 | 5.9 | 0.0 | 96.9 | 2,726 |
| 第33期 (2017年11月6日) | 6,516 | 100 | △ 0.9 | 0.0 | 96.9 | 2,630 |
| 第34期 (2017年12月4日) | 6,591 | 100 | 2.7 | 0.0 | 97.1 | 2,601 |
| 第35期 (2018年1月4日) | 6,677 | 100 | 2.8 | 0.0 | 96.8 | 2,666 |
| 第36期 (2018年2月5日) | 6,586 | 100 | 0.1 | 0.0 | 96.7 | 2,665 |
| 第37期 (2018年3月5日) | 6,013 | 100 | △ 7.2 | 0.0 | 97.2 | 2,455 |
| 第38期 (2018年4月4日) | 5,746 | 100 | △ 2.8 | 0.0 | 97.1 | 2,346 |
| 第39期 (2018年5月7日) | 5,542 | 100 | △ 1.8 | 0.0 | 96.9 | 2,259 |
| 第40期 (2018年6月4日) | 5,290 | 100 | △ 2.7 | 0.0 | 96.8 | 2,136 |
| 第41期 (2018年7月4日) | 5,026 | 100 | △ 3.1 | 0.0 | 96.6 | 1,948 |
| 第42期 (2018年8月6日) | 5,343 | 100 | 8.3 | 0.0 | 96.9 | 2,022 |
| 第43期 (2018年9月4日) | 4,821 | 100 | △ 7.9 | 0.0 | 96.7 | 1,830 |
| 第44期 (2018年10月4日) | 5,154 | 100 | 9.0 | 0.0 | 96.7 | 1,885 |
| 第45期 (2018年11月5日) | 4,950 | 70 | △ 2.6 | 0.0 | 96.9 | 1,809 |
| 第46期 (2018年12月4日) | 4,854 | 70 | △ 0.5 | 0.0 | 96.8 | 1,751 |
| 第47期 (2019年1月4日) | 4,190 | 70 | △12.2 | 0.0 | 96.3 | 1,457 |
| 第48期 (2019年2月4日) | 4,679 | 70 | 13.3 | 0.0 | 97.3 | 1,604 |
| 第49期 (2019年3月4日) | 4,680 | 70 | 1.5 | 0.0 | 97.2 | 1,579 |
| 第50期 (2019年4月4日) | 4,534 | 70 | △ 1.6 | 0.0 | 97.1 | 1,526 |
| 第51期 (2019年5月7日) | 4,471 | 70 | 0.2 | 0.0 | 97.0 | 1,491 |
| 第52期 (2019年6月4日) | 4,124 | 70 | △ 6.2 | 0.0 | 96.7 | 1,372 |
| 第53期 (2019年7月4日) | 4,364 | 70 | 7.5 | 0.0 | 96.8 | 1,450 |

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*基準価額の騰落率は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

当作成期中の基準価額等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 公 社 債 組入比率 | 投資信託証券 組 入 比 率 |
|------|-----------------|------------|--------|---------------|-------------------|
| | | | 騰落率 | | |
| 第48期 | (期 首) 2019年1月4日 | 円 4,190 | % — | % 0.0 | % 96.3 |
| | 1月末 | 4,704 | 12.3 | 0.0 | 95.9 |
| | (期 末) 2019年2月4日 | 4,749 | 13.3 | 0.0 | 97.3 |
| 第49期 | (期 首) 2019年2月4日 | 4,679 | — | 0.0 | 97.3 |
| | 2月末 | 4,775 | 2.1 | 0.0 | 95.7 |
| | (期 末) 2019年3月4日 | 4,750 | 1.5 | 0.0 | 97.2 |
| 第50期 | (期 首) 2019年3月4日 | 4,680 | — | 0.0 | 97.2 |
| | 3月末 | 4,401 | △ 6.0 | 0.0 | 97.3 |
| | (期 末) 2019年4月4日 | 4,604 | △ 1.6 | 0.0 | 97.1 |
| 第51期 | (期 首) 2019年4月4日 | 4,534 | — | 0.0 | 97.1 |
| | 4月末 | 4,549 | 0.3 | 0.0 | 95.4 |
| | (期 末) 2019年5月7日 | 4,541 | 0.2 | 0.0 | 97.0 |
| 第52期 | (期 首) 2019年5月7日 | 4,471 | — | 0.0 | 97.0 |
| | 5月末 | 4,182 | △ 6.5 | 0.0 | 95.0 |
| | (期 末) 2019年6月4日 | 4,194 | △ 6.2 | 0.0 | 96.7 |
| 第53期 | (期 首) 2019年6月4日 | 4,124 | — | 0.0 | 96.7 |
| | 6月末 | 4,363 | 5.8 | 0.0 | 97.2 |
| | (期 末) 2019年7月4日 | 4,434 | 7.5 | 0.0 | 96.8 |

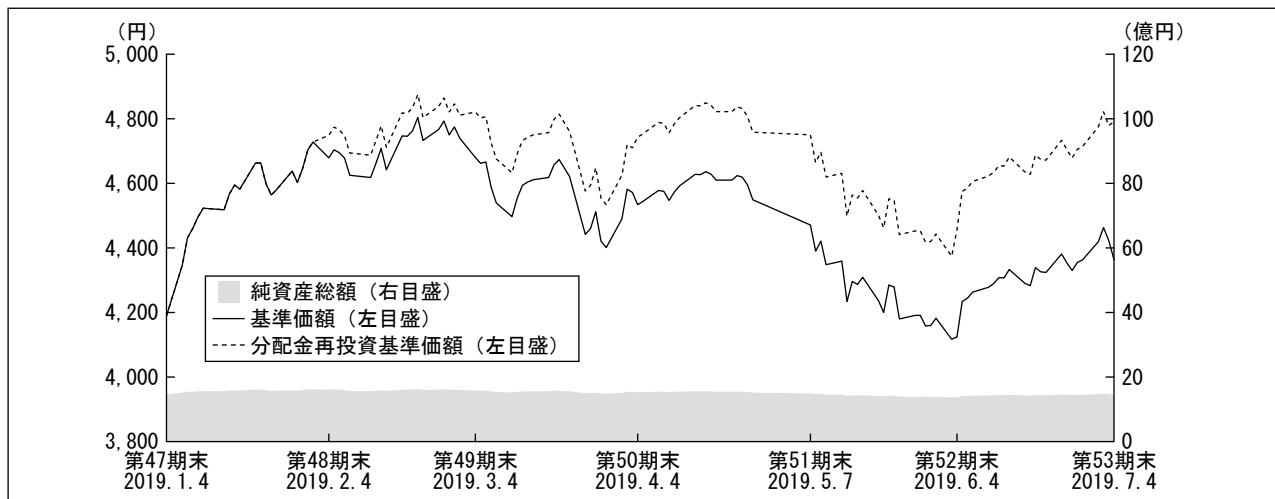
*騰落率は期首比です。

*期末基準価額は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】



* 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

* 分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第48期首： 4,190円

第53期末： 4,364円（作成対象期間における期中分配金合計額 420円）

騰落率： +14.3%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class Aへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「高金利通貨戦略」と「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせて運用を行いました。

（上昇要因）

農業化学会社のFMC、食品会社のTyson Foods、半導体製造装置会社のApplied Materials、エネルギー会社のAnadarko Petroleumなどが上昇したことが、上昇要因となりました。

また、通貨カバードコール戦略がプラスに寄与しました。

（下落要因）

小売会社のQurate Retail、リチウム生産会社のLivent Corporation、エネルギー会社のHalliburtonなどが下落したことが、下落要因となりました。

また、株式カバードコール戦略、高金利通貨戦略がマイナスに作用しました。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

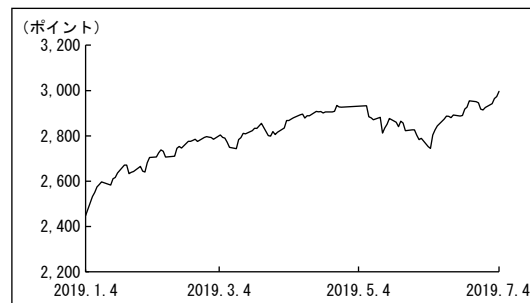
【投資環境】

当作成期、米国大型株は、貿易問題、金利情勢、景気鈍化への懸念を乗り越えて非常に好調でした。作成期中盤に一時的に下落局面はありましたが、作成期を通じては堅調な展開となり、主要11セクターのすべてが上昇し、S&P500種株価指数は二桁台の上昇率となりました。情報技術セクターが最も良いパフォーマンスとなり、公益事業、ヘルスケア、エネルギーの3セクターのみが20%未満のリターンとなりました。米中貿易戦争は、依然として投資家心理を支配し、業績およびグローバル景気の減速への思惑も投資家心理を左右しました。しかし、利下げ期待はそれ以上に投資家心理に影響を及ぼし、作成期末にかけて楽観派の買いを誘いました。作成期を通じて上昇相場が維持され、VIX指数（米国株の予想変動率を示す指数）は作成期中の一時的な相場下落局面を除いて著しく低下しました。

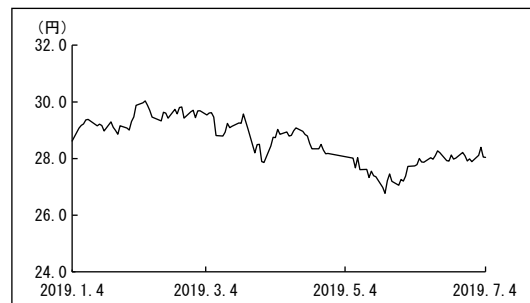
当作成期のブラジルレアル円は下落しました。2019年に入ると1月に就任したボルソナロ大統領率いるブラジルの新政権に対する期待、FRB（米連邦準備制度理事会）のハト派的な姿勢などが支援材料となりブラジルレアル円が上昇する場面もありましたが、その後、トルコリラ市場の混乱を受けた新興国通貨安やブラジルの社会保障制度を巡る進展期待の後退、鉄鉱石価格の下落を巻き込み、ブラジルレアルは下落基調で推移しました。トランプ米大統領の対中関税引き上げ表明に加え、米商務省が中国の通信機器大手、華為技術（ファーウェイ）への輸出を事実上禁止する規制を発効したことも、円高・ブラジルレアル安の材料となりました。しかしその後、ファーウェイ制裁を巡る一部猶予措置の発表やブラジルの社会保障制度改革を巡る進展期待、FRBが利下げを行うとの見方が広がったことなどを背景にブラジルレアル円は反発し、回復基調で推移しました。作成期末にかけては、米中首脳会談で、通商協議を再開することや対中関税第4弾の発動見送りなどが決定されたこともブラジルレアル高・円安の支援材料となりました。

国内短期金融市場では、作成期初-0.19%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、作成期を通じて-0.10%~-0.30%での動きに終始し、-0.11%近辺で作成期末を迎えました。

S&P500種株価指数の推移



為替レート（ブラジルレアル/円）の推移



(出所：WMロイター)

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

【ポートフォリオ】

■米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

主要投資対象であるUS Value Equity Concentrated Fund Quartet Class Aを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は96.8%としました。

■US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A

当作成期、一般消費財・サービスと情報技術での銘柄選択、エネルギーのオーバーウェイト、情報技術のアンダーウェイトが相対リターンにマイナスに作用しました。

主な売買としては、金鉱会社のBarrick Goldなどを購入した一方、エネルギー会社のAnadarko Petroleumなどを売却しました。

また、米国株式への投資に加え、米ドル売り／ブラジルレアル買いの為替取引による高金利通貨戦略、米国株株価指数（原則としてS&P500種株価指数とします。）のコールオプションの売りを行う株式カバードコール戦略および円に対するブラジルレアルのコールオプションの売りを行う通貨カバードコール戦略を活用し、運用を行いました。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第48期～第53期の各期において70円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

| 項目 | 第48期 | 第49期 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 |
|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 2019年1月5日 ～2019年2月4日 | 2019年2月5日 ～2019年3月4日 | 2019年3月5日 ～2019年4月4日 | 2019年4月5日 ～2019年5月7日 | 2019年5月8日 ～2019年6月4日 | 2019年6月5日 ～2019年7月4日 |
| 当期分配金 (円) | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| (対基準価額比率) (%) | 1.47 | 1.47 | 1.52 | 1.54 | 1.67 | 1.58 |
| 当期の収益 (円) | 12 | 11 | 7 | 6 | 7 | 11 |
| 当期の収益以外 (円) | 57 | 59 | 62 | 63 | 62 | 58 |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 1,399 | 1,341 | 1,278 | 1,215 | 1,153 | 1,095 |

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「高金利通貨戦略」と「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A

米国経済の成長は持続可能で、史上最長の景気拡大をもたらすのに十分であり、米中通商交渉は数ヵ月以内に完了すると見ています。しかし、当ファンドは依然として警戒的です。貿易戦争に加えて、債務、そして成長志向の政策を頓挫させ企業の利益成長を鈍化させかねない政治の機能不全は、依然として大きな懸念材料です。

当ファンドの保有銘柄は、グローバル景気の減速局面においても業績を改善できると見ています。前作成期末と比べて、当ファンドの保有銘柄は概ね変わりません。ボトムアップの銘柄選択の結果、市場平均対比では、金融、エネルギー、素材をオーバーウェイト、情報技術、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービスをアンダーウェイトとしています。

今後のブラジルレアルについては、ブラジル国内の投資環境では、同国の社会保障制度改革を巡る展開に留意が必要と考えています。ボルソナロ新政権は少数与党のため、改革を巡る法案の成立に時間がかかるとの見方がある中、上下院議長選では両院共に社会保障改革に前向きと見られる新議長が選出されました。構造改革の停滞はブラジルレアルの重石となる一方、円滑な議会運営が行われ、改革の進展観測が好転した場合、ブラジルレアル高・円安の支援材料になると考えられます。ブラジル国外の投資環境では、FRBの金融政策運営や米中通商協議を巡る進展に留意が必要です。FRBのハト派的な姿勢はブラジルレアルの追い風となる一方、米中通商交渉を巡る懸念はリスク要因として注意が必要です。

高金利通貨戦略では、相対的に金利水準の高い通貨の為替取引を実質的に行います。また、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため、政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

1万口当りの費用明細

| 項目 | 第48期～第53期 | | 項目の概要 |
|--------|---------------------|---------|---|
| | 2019年1月5日～2019年7月4日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 28円 | 0.629% | 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は4,496円です。 |
| （投信会社） | (13) | (0.295) | ファンドの運用等の対価 |
| （販売会社） | (14) | (0.321) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | (1) | (0.013) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| その他費用 | 0 | 0.005 | その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 |
| （監査費用） | (0) | (0.005) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 29 | 0.634 | |

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

（2019年1月5日から2019年7月4日まで）

■投資信託受益証券

| 決算期 | | 第48期～第53期 | | | |
|-----|---|---------------|--------------|---------------|---------------|
| | | 買付 | | 売付 | |
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 外国 | US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A | 千口 255,233 | 千円 90,383 | 千口 785,621 | 千円 279,586 |

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

（2019年1月5日から2019年7月4日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

組入資産の明細

2019年7月4日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 当 期 末 | | |
|---|-----------------|-----------------|-----------|
| | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A | 千口 3,889,601 | 千円 1,404,924 | % 96.8 |
| 合 計 | 3,889,601 | 1,404,924 | 96.8 |

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

| | 第 47 期 末 | 第 53 期 末 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド | 千口 799 | 千口 799 | 千円 798 |

<補足情報>

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（37,357千口）の内容です。

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区 分 | 2019年7月4日現在 | | | | | | |
|------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------|-------------------|---------------|---------------------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | 組入比率 | うちBB格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 千円 24,000 (24,000) | 千円 24,086 (24,086) | % 64.5 (64.5) | % — (—) | % — (—) | % — (—) | % 64.5 (64.5) |
| 合 計 | 24,000 (24,000) | 24,086 (24,086) | 64.5 (64.5) | — (—) | — (—) | — (—) | 64.5 (64.5) |

*（ ）内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

| 銘柄 | 2019年7月4日現在 | | | |
|----------------|-------------|--------|--------|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| (特殊債券（除く金融債券）) | % | 千円 | 千円 | |
| 10 政保地方公共6 | 0.3850 | 10,000 | 10,001 | 2019/07/24 |
| 85 政保道路機構 | 1.4000 | 4,000 | 4,004 | 2019/07/31 |
| 93 政保道路機構 | 1.4000 | 5,000 | 5,030 | 2019/11/29 |
| 100 政保道路機構 | 1.4000 | 5,000 | 5,049 | 2020/02/28 |
| 合計 | — | 24,000 | 24,086 | — |

投資信託財産の構成

2019年7月4日現在

| 項目 | 第53期末 | |
|--------------------|-----------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 1,404,924 | % 95.0 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド | 798 | 0.1 |
| コール・ローン等、その他 | 73,461 | 4.9 |
| 投資信託財産総額 | 1,479,184 | 100.0 |

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | (2019年2月4日) | (2019年3月4日) | (2019年4月4日) | (2019年5月7日) | (2019年6月4日) | (2019年7月4日)現在 |
|-------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 第48期末 | 第49期末 | 第50期末 | 第51期末 | 第52期末 | 第53期末 |
| (A) 資 産 | 1,631,449,880円 | 1,614,232,716円 | 1,552,969,999円 | 1,519,675,061円 | 1,397,623,736円 | 1,479,184,470円 |
| コー ル ・ ロ ー ン 等 | 68,543,242 | 78,128,049 | 69,661,720 | 72,466,633 | 70,288,639 | 72,961,660 |
| 投資信託受益証券（評価額） | 1,561,869,172 | 1,535,306,106 | 1,481,816,766 | 1,446,410,027 | 1,326,536,696 | 1,404,924,225 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド（評価額） | 798,641 | 798,561 | 798,481 | 798,401 | 798,401 | 798,401 |
| 未 収 入 金 | 238,825 | — | 693,032 | — | — | 500,184 |
| (B) 負 債 | 26,671,789 | 34,622,870 | 26,373,049 | 27,978,510 | 25,515,875 | 28,307,624 |
| 未 払 金 | 189,785 | 4,626,735 | — | — | 427,667 | 924,122 |
| 未 払 収 益 分 配 金 | 24,010,301 | 23,627,900 | 23,568,110 | 23,355,993 | 23,289,196 | 23,271,496 |
| 未 払 解 約 金 | 766,754 | 4,790,457 | 1,108,772 | 2,811,246 | 355,731 | 2,538,598 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 1,690,491 | 1,551,593 | 1,655,843 | 1,757,203 | 1,378,409 | 1,496,450 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 14,458 | 26,185 | 40,324 | 54,248 | 64,872 | 76,958 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A－B) | 1,604,778,091 | 1,579,609,846 | 1,526,596,950 | 1,491,696,551 | 1,372,107,861 | 1,450,876,846 |
| 元 本 | 3,430,043,120 | 3,375,414,405 | 3,366,872,947 | 3,336,570,470 | 3,327,028,124 | 3,324,499,539 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | △1,825,265,029 | △1,795,804,559 | △1,840,275,997 | △1,844,873,919 | △1,954,920,263 | △1,873,622,693 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 3,430,043,120口 | 3,375,414,405口 | 3,366,872,947口 | 3,336,570,470口 | 3,327,028,124口 | 3,324,499,539口 |
| 1万口当り基準価額 (C/D) | 4.679円 | 4.680円 | 4.534円 | 4.471円 | 4.124円 | 4.364円 |

*元本状況

| | | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 期首元本額 | 3,479,110,623円 | 3,430,043,120円 | 3,375,414,405円 | 3,366,872,947円 | 3,336,570,470円 | 3,327,028,124円 |
| 期中追加設定元本額 | 21,921,801円 | 32,288,442円 | 21,786,109円 | 20,535,153円 | 26,405,785円 | 39,532,896円 |
| 期中一部解約元本額 | 70,989,304円 | 86,917,157円 | 30,327,567円 | 50,837,630円 | 35,948,131円 | 42,061,481円 |

*元本の欠損

| | | | | | | |
|--|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 1,825,265,029円 | 1,795,804,559円 | 1,840,275,997円 | 1,844,873,919円 | 1,954,920,263円 | 1,873,622,693円 |
|--|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|

損益の状況

| 項 目 | 自2019年1月5日 至2019年2月4日 | 自2019年2月5日 至2019年3月4日 | 自2019年3月5日 至2019年4月4日 | 自2019年4月5日 至2019年5月7日 | 自2019年5月8日 至2019年6月4日 | 自2019年6月5日 至2019年7月4日 |
|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 第48期 | 第49期 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 |
| (A) 配 当 等 収 益 | 4,400,049円 | 4,251,058円 | 4,196,653円 | 4,099,162円 | 4,018,437円 | 3,938,064円 |
| 受 取 配 当 金 | 4,403,661 | 4,254,458 | 4,198,888 | 4,104,096 | 4,021,373 | 3,941,352 |
| 受 取 利 息 | 16 | 12 | 54 | 17 | 5 | 193 |
| 支 払 損 益 | △ 3,628 | △ 3,412 | △ 2,289 | △ 4,951 | △ 2,941 | △ 3,481 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 188,382,837 | 21,161,509 | 27,848,213 | 192,563 | 94,348,483 | 100,029,937 |
| 売 買 益 損 | 190,508,326 | 21,491,318 | 378,352 | 658,254 | 667,790 | 100,845,189 |
| 配 当 等 損 益 | △ 2,125,489 | △ 329,809 | △ 28,226,565 | △ 850,817 | △ 95,016,273 | △ 815,252 |
| (C) 信 託 報 酬 | △ 1,704,753 | △ 1,564,127 | △ 1,669,982 | △ 1,771,445 | △ 1,389,536 | △ 1,508,536 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | 191,078,133 | 23,848,440 | 25,321,542 | 2,135,154 | 91,719,582 | 102,459,465 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 540,711,802 | △ 345,131,983 | △ 322,065,799 | △ 344,818,975 | △ 341,292,407 | △ 430,201,341 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額) | △ 1,451,621,059 | △ 1,450,893,116 | △ 1,469,320,546 | △ 1,478,834,105 | △ 1,498,619,078 | △ 1,522,609,321 |
| (配 当 等 相 当 額) | (499,435,333) | (472,254,207) | (451,201,278) | (426,457,557) | (404,285,867) | (383,375,847) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△1,951,056,392) | (△1,923,147,323) | (△1,920,521,824) | (△1,905,291,662) | (△1,902,904,945) | (△1,905,985,168) |
| (G) 計 (D+E+F) | △ 1,801,254,728 | △ 1,772,176,659 | △ 1,816,707,887 | △ 1,821,517,926 | △ 1,931,631,067 | △ 1,850,351,197 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 24,010,301 | △ 23,627,900 | △ 23,568,110 | △ 23,355,993 | △ 23,289,196 | △ 23,271,496 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G+H) | △ 1,825,265,029 | △ 1,795,804,559 | △ 1,840,275,997 | △ 1,844,873,919 | △ 1,954,920,263 | △ 1,873,622,693 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額) | (△1,471,172,304) | (△1,470,808,060) | (△1,490,195,158) | (△1,499,854,498) | (△1,519,246,652) | (△1,541,891,418) |
| (配 当 等 相 当 額) | (479,884,088) | (452,339,263) | (430,326,666) | (405,437,164) | (383,658,293) | (364,093,750) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△1,951,056,392) | (△1,923,147,323) | (△1,920,521,824) | (△1,905,291,662) | (△1,902,904,945) | (△1,905,985,168) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 52,797 | 353,556 | 208,766 | 199,500 | 191,920 | 82,238 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 354,145,522 | △ 325,350,055 | △ 350,289,605 | △ 345,218,921 | △ 435,865,531 | △ 331,813,513 |

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

| 決 算 期 | 第48期 | 第49期 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 |
|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (A) 配当等収益（費用控除後） | 4,361,590円 | 3,989,762円 | 2,527,001円 | 2,328,133円 | 2,629,333円 | 3,881,228円 |
| (B) 有価証券売買等損益 （費用控除後、繰越欠損金補填後） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (C) 収益調整金 | 499,435,333 | 472,254,207 | 451,201,278 | 426,457,557 | 404,285,867 | 383,375,847 |
| (D) 分配準備積立金 | 150,263 | 76,750 | 375,263 | 206,967 | 224,209 | 190,409 |
| 分配可能額（A+B+C+D） | 503,947,186 | 476,320,719 | 454,103,542 | 428,992,657 | 407,139,409 | 387,447,484 |
| （1万円当り分配可能額） | （ 1,469.22） | （ 1,411.15） | （ 1,348.74） | （ 1,285.73） | （ 1,223.73） | （ 1,165.43） |
| 収益分配金 | 24,010,301 | 23,627,900 | 23,568,110 | 23,355,993 | 23,289,196 | 23,271,496 |
| （1万円当り収益分配金） | （ 70） | （ 70） | （ 70） | （ 70） | （ 70） | （ 70） |

分配金のお知らせ

| 決 算 期 | 第48期 | 第49期 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 |
|---------------|------|------|------|------|------|------|
| 1万円当り分配金（税込み） | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 |

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

参考情報

■投資対象とする投資信託証券の概要

| | |
|---------------|---|
| ファンド名 | US Value Equity Concentrated Fund Quartet Class A |
| 基本的性格 | ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建て |
| 運用目的 | 主に米国の金融商品取引所に上場する株式（REITやETF等に投資する場合があります。）に投資します。また、スワップ取引を通じて、実質的に高金利通貨の買いと米ドルの売りの為替取引ならびに米国の株価指数のコールオプションの売りと円に対する高金利通貨のコールオプションの売りを行うことで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。 |
| 主要投資対象 | 米国の株式を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、為替取引、株価指数オプション取引ならびに通貨オプション取引を活用します。 |
| 投資方針 | <p>1. 主として米国の株式に投資しつつ、為替取引および株価指数と通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p><米国株投資戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資に当たっては、主にPERから見た割安度に着目し、利益の成長が期待できる銘柄に厳選投資します。通常時においては、30銘柄から40銘柄程度に投資することを基本とします。※銘柄数は将来変更される場合があります。 ・株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 <p><高金利通貨戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高金利の通貨の買いと米ドルの売りの為替取引を行います。 ・取引対象通貨は、ブラジルレアルとします。 <p><株式カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式カバードコール戦略は、米国の株価指数にかかるコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 ・株式カバードコール戦略は、原則としてファンドの純資産総額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 <p><通貨カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通貨カバードコール戦略は、円に対する高金利通貨（ブラジルレアル）のコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 ・通貨カバードコール戦略は、原則としてファンドの純資産総額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 <p>※カバードコール戦略では、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。</p> <p>※高金利通貨戦略および株式・通貨のカバードコール戦略については、クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とするスワップ取引を通じて当該戦略を行った場合の投資成果を享受します。</p> <p>2. 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。</p> |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・同一セクターへの投資割合は、原則として取得時において信託財産の純資産総額の50%以内とします。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。 |
| 収益の分配 | 原則毎月行います。 |
| 申込手数料 | ありません。 |
| 管理報酬 その他費用 | <p>管理報酬等：年0.69%程度</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、信託事務に関する費用、組入有価証券等の売買時等にかかる費用、受託会社の費用（年10,000米ドル）、管理事務費用、名義書換事務代行費用、信託財産の処理に関する費用、組入有価証券等の保管に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>※上記の管理報酬等には、管理事務代会社への報酬が含まれており、その報酬には下限金額（約40,000米ドル）が設定されています。</p> <p>※上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p> |
| 管理会社 | クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド |

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のUS Value Equity Concentrated Fund (For Qualified Institutional Investors Only)の情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

貸借対照表

| | 2018年3月31日 現在 (日本円) | 2017年3月31日 現在 (日本円) |
|--------------------|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | |
| 金融資産 | 2,326,444,735 | 2,981,028,320 |
| 現金及び現金同等物 | 123,866,874 | 136,008,815 |
| 未収金： | | |
| 有価証券売却 | 47,177,189 | 45,200,233 |
| 配当金 | 1,529,607 | 2,204,613 |
| 受益証券発行 | 820,075 | 4,687,994 |
| 資産合計 | 2,499,838,480 | 3,169,129,975 |
| 負債の部 | | |
| 金融負債 | 17,623,796 | 1,374,887 |
| 当座借越 | — | 61,465 |
| 未払金： | | |
| 受益証券償還 | 70,061,910 | 70,301,879 |
| カスタディーフィー | 2,691,136 | 1,184,149 |
| 仲介手数料 | 1,254,148 | 1,505,486 |
| 未払運用報酬 | 966,616 | 2,354,787 |
| 有価証券取得 | 600,888 | 130,033 |
| 名義書換代理人報酬 | 361,267 | 237,208 |
| 受託会社報酬 | 23,407 | 162,427 |
| 管理会社費用 | — | 371,483 |
| 負債（受益者に帰属する純資産を除く） | 93,583,168 | 77,683,804 |
| 受益者に帰属する純資産 | 2,406,255,312 | 3,091,446,171 |

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

包括利益計算書

| | 2018年3月31日に終了 した期間 (日本円) | 2017年3月31日に終了 した期間 (日本円) |
|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 収益 | | |
| 受取配当金 | 64,352,926 | 55,733,070 |
| 受取利息 | 676,888 | 302,589 |
| 金融資産及び金融負債に係る実現益 | 178,593,953 | 445,425,887 |
| 外国為替取引に係る実現（損）益 | (6,142,629) | 6,145,768 |
| 金融資産及び金融負債に係る評価益 | 1,753,952 | 507,415,179 |
| 外国為替に係る評価損 | (3,486,881) | (2,839,523) |
| 収益計 | 235,748,209 | 1,012,182,970 |
| 費用 | | |
| 運用報酬 | 12,794,135 | 11,518,776 |
| カスタディーフィー | 8,562,634 | 5,212,926 |
| 仲介手数料 | 5,413,792 | 4,984,141 |
| 管理会社費用 | 3,315,546 | 4,125,073 |
| 名義書換代理人報酬 | 1,088,830 | 1,025,641 |
| 受託会社報酬 | 859,551 | 1,167,175 |
| 取引費用 | 632,062 | 668,450 |
| 登録費用 | 39,943 | 163,238 |
| 費用計 | 32,706,493 | 28,865,420 |
| 金融費用控除前の運用収益 | 203,041,716 | 983,317,550 |
| 金融費用 | | |
| 受益者に対する分配金 | (106,884,705) | (1,118,815,051) |
| 支払利息 | (471) | — |
| 金融費用計 | (106,885,176) | (1,118,815,051) |
| 分配金支払い後及び税引き前（損）益 | 96,156,540 | (135,497,501) |
| 源泉税 | (18,310,945) | (15,624,592) |
| 受益者に帰属する純資産の増（減）額 | 77,845,595 | (151,122,093) |

米国株アルファ・カルテット（毎月分配型）

【組入上位銘柄】

| | 銘柄名 | 業種名 | 比率 |
|----|--------------------------------|----------|------|
| 1 | Verizon Communications Inc. | 電気通信サービス | 4.1% |
| 2 | Bank of America Corporation | 金融 | 3.8% |
| 3 | NextEra Energy, Inc. | 公益事業 | 3.7% |
| 4 | Anadarko Petroleum Corporation | エネルギー | 3.6% |
| 5 | Citigroup Inc | 金融 | 3.5% |
| 6 | Tyson Foods, Inc. Class A | 生活必需品 | 3.5% |
| 7 | FMC Corporation | 素材 | 3.4% |
| 8 | Humana Inc. | ヘルスケア | 3.4% |
| 9 | Teradata Corporation | 情報技術 | 3.3% |
| 10 | Morgan Stanley | 金融 | 3.2% |

（組入銘柄数 36銘柄）

※ 組入上位銘柄はコロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーから提供された2018年3月末基準のデータに基づき作成しております。

※ US Value Equity Concentrated Fundの組入株式等の時価評価額合計に対する比率です。

※ 業種名は世界産業分類基準（GICS）です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2018年7月25日

(第5期：2017年7月26日～2018年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 親投資信託 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 |
| 主要運用対象 | 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | <ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資は行いません。・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。 |

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 騰落率 | | 公社債比率 | 純資産総額 |
|--------------------|-------------|-----|--------|--------|------------|
| | | 期騰 | 落中率 | | |
| (設定日) 2013年6月3日 | 円 10,000 | | % - | % - | 百万円 102 |
| 第1期 (2014年7月25日) | 10,008 | | 0.1 | 76.1 | 26 |
| 第2期 (2015年7月27日) | 10,010 | | 0.0 | 74.4 | 53 |
| 第3期 (2016年7月25日) | 10,011 | | 0.0 | 69.6 | 59 |
| 第4期 (2017年7月25日) | 10,000 | | △0.1 | 79.3 | 49 |
| 第5期 (2018年7月25日) | 9,995 | | △0.1 | 83.5 | 49 |

*当ファンドは、安定した収益の確保を目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | | 公社債比率 |
|-----------------|-------------|-----|--------|-----------|
| | | 騰 | 落率 | |
| (期首) 2017年7月25日 | 円 10,000 | | % - | % 79.3 |
| 7月末 | 10,000 | | 0.0 | 59.0 |
| 8月末 | 9,999 | | △0.0 | 79.5 |
| 9月末 | 9,999 | | △0.0 | 59.1 |
| 10月末 | 10,000 | | 0.0 | 58.5 |
| 11月末 | 9,999 | | △0.0 | 66.4 |
| 12月末 | 9,999 | | △0.0 | 66.1 |
| 2018年1月末 | 9,998 | | △0.0 | 54.2 |
| 2月末 | 9,996 | | △0.0 | 78.9 |
| 3月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.2 |
| 4月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.3 |
| 5月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.3 |
| 6月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.4 |
| (期末) 2018年7月25日 | 9,995 | | △0.1 | 83.5 |

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：10,000円

期末：9,995円

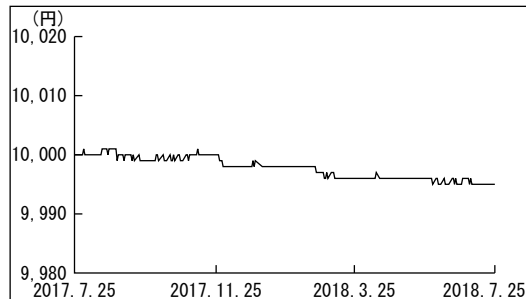
騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレート
のマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、米国の債務上限問題や海外投資家による短期の国債への需要の高まり等を背景に2017年11月下旬にかけて-0.25%近辺まで低下しました。その後はマイナス幅を縮小し期末にかけて狭いレンジの動きに終始し、-0.15%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的緩和」への政策枠組み変更後も、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|---------------------|-----------------------|-------------------|---|
| | 2017年7月26日～2018年7月25日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| その他費用 (その他) | 0円 (0) | 0.002% (0.002) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 0 | 0.002 | |
| 期中の平均基準価額は9,998円です。 | | | |

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|---|---|-------|--------------------|
| 国 | 内 | 千円 | 千円 |
| | | 地方債証券 | 4,001 (4,000) |
| | | 特殊債券 | 51,488 (49,000) |

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

| | | 当期 | |
|------------|--------|----|----|
| 買付 | | 売付 | |
| 銘柄 | 金額 | 銘柄 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 66 政保道路機構 | 14,134 | — | — |
| 67 政保道路機構 | 11,126 | | |
| 886 政保公営企業 | 10,151 | | |
| 62 政保道路機構 | 10,018 | | |
| 77 政保道路機構 | 6,056 | | |
| 92 大阪府5年 | 4,001 | | |

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2018年7月25日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区 分 | 当 期 | | | | 末 | | |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------|-------------------|---------------|---------------------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 特 殊 債 券 (除く金融債券) | 千円 41,000 (41,000) | 千円 41,141 (41,141) | % 83.5 (83.5) | % — (—) | % — (—) | % — (—) | % 83.5 (83.5) |
| 合 計 | 41,000 (41,000) | 41,141 (41,141) | 83.5 (83.5) | — (—) | — (—) | — (—) | 83.5 (83.5) |

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

| 銘 柄 | 当 期 | | | 末 |
|----------------|--------|---------|--------|------------|
| | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| (特殊債券(除く金融債券)) | % | 千円 | 千円 | |
| 62 政保道路機構 | 1.7000 | 10,000 | 10,003 | 2018/07/31 |
| 66 政保道路機構 | 1.5000 | 14,000 | 14,037 | 2018/09/28 |
| 67 政保道路機構 | 1.6000 | 11,000 | 11,048 | 2018/10/31 |
| 77 政保道路機構 | 1.3000 | 6,000 | 6,051 | 2019/03/19 |
| 合 計 | — | 41,000 | 41,141 | — |

投資信託財産の構成

2018年7月25日現在

| 項 目 | 当 期 | | 末 |
|-------------------------|--------------|-----------|---|
| | 評 価 額 | 比 率 | |
| 公 社 債 | 千円 41,141 | % 83.5 | |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 8,105 | 16.5 | |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 49,246 | 100.0 | |

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年7月25日) 現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------|-------------|
| (A) 資 産 | 49,246,681円 |
| コール・ローン等 | 8,012,546 |
| 公社債(評価額) | 41,141,180 |
| 未収利息 | 21,695 |
| 前払費用 | 71,260 |
| (B) 負 債 | 5,010 |
| 未払解約金 | 5,000 |
| その他未払費用 | 10 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A-B) | 49,241,671 |
| 元 本 | 49,264,828 |
| 次期繰越損益金 | △ 23,157 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 49,264,828口 |
| 1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D) | 9,995円 |

*元本状況

| | |
|-----------|-------------|
| 期首元本額 | 49,397,657円 |
| 期中追加設定元本額 | 1,267,196円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,400,025円 |

*元本の内訳

| | |
|---|-------------|
| 北米シェール関連株ファンド | 7,581,704円 |
| タフ・アメリカ (マネープールファンド) | 7,852,018円 |
| 米国小型株ツインα (毎月分配型) | 552,681円 |
| 米国小型株ツインα (資産成長型) | 71,698円 |
| 日本株アルファ・カルテット (毎月分配型) | 1,998,801円 |
| 欧州株ツインα (毎月分配型) | 13,111円 |
| 欧州株ツインα (資産成長型) | 96円 |
| NBマルチ・ストラテジー・ファンド (ダイワSMA専用) | 2,699,766円 |
| NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド (部分為替ヘッジあり) - 予想分配金提示型- | 20,915円 |
| NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド (為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型- | 9,993円 |
| 米国リバーサル戦略ツインαネオ (毎月分配型) | 26,385,980円 |
| 米国リート厳選ファンド (毎月決算型) | 249,776円 |
| 米国リート厳選ファンド (資産成長型) | 249,776円 |
| 米国株アルファ・カルテット (毎月分配型) | 799,281円 |
| 米国株厳選ファンド・米ドルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・ブラジルリアルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・豪ドルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・高金利通貨コース | 9,992円 |
| 米国リート・アルファ・カルテット (毎月分配型) | 699,301円 |
| NBマルチ戦略ファンド | 9,989円 |
| 日本株アルファ・カルテット (年2回決算型) | 9,990円 |
| 大和住銀/コンビアメリカ株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用) | 9,992円 |
| 大和住銀/コンビアメリカ株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用) | 9,992円 |
| *元本の欠損 | 23,157円 |

損益の状況

自2017年7月26日
至2018年7月25日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|-----------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 520,980円 |
| 受 取 利 息 | 533,098 |
| 支 払 利 息 | △ 12,118 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 543,640 |
| 売 買 損 益 | △ 543,640 |
| (C) そ の 他 費 用 | △ 1,002 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | △ 23,662 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 242 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | 407 |
| (G) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 144 |
| (H) 計 (D+E+F+G) | △ 23,157 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (H) | △ 23,157 |

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

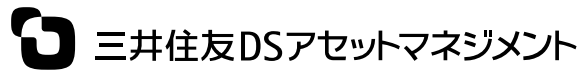
*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



三井住友DSアセットマネジメント